

1,事業概要

京都・東山の菊溪、菊溪(菊谷)川を名称の起源にする「キクタニギク(アワコガネギク)」は、京都ゆかりの「野菊」であるが、現地では野生絶滅している。「都の福菊」では、京都をテーマにした観賞用のキクとして、また食材や加工品の原材料として「キクタニギク」を利用する目的で、観光資源化して地域活性化に貢献する活動を行っている。本事業では、キクタニギクを観賞用の花として活用する場面を拡大するために、現行では10月中旬～の開花期間を重陽の節句(9月9日)が行われる9月初旬より前に早めるため、短日処理栽培法の開発を行った。

2,事業実績

都の福菊は、前年度育成したキクタニギクの株から株分けした苗を京都府立大学および京都府立桂高等学校へ移送した。栽培管理は京都府立大学および京都府立桂高等学校の施設を使用して行った。研究代表者の増村と研究協力者の佐藤が栽培管理を指導した。5月末まで育成し、摘心して1株あたり3～4本の側枝に調整した。比較として未処理区(0w)を設けた。短日処理(8L-16D)は6月初旬から、恒温室内に遮光区を設置しておこなった。処理期間は2区設け(2w, 4w)、各処理区複数個体を用いた。短日処理後は、自然日長下で栽培した。熱が籠もらないように栽培中は冷却するなどした。栽培中に蕾の形成を調査した。短日処理区4wでは8月1日に開花が見られ、8月中旬に花のピークがあり、8月29日に終了した。一方、短日処理区2wと未処理区0wでは早期開花は見られず、全ての区で11月5日に開花が見られた。即ち短日処理区4wでは、2回開花した。以上の結果からキクタニギクにおいても短日処理(4週間必要)で開花促進できることが判り、本年度の事業の目的は達成された。キクタニギクに短日処理を行う事で、開花の時期を人工的に制御し、現行の10月中旬以降から8月初旬へと早めることが可能になった。

そこで、本事業の成果を10月27日(日)午後に京都府立大学稲盛記念会館101・102室を使って、公開講座「キクタニギクの未来創造」で広く発信した。京都府立大学からは佐藤名誉教授が基調講演を行い、京都府立桂高等学校の生徒が短日処理栽培の結果について報告を行った。また、体験交流として高校生による高校における研究活動をポスターで発表し、室内にキクタニギクを展示し、キクタニギクの押し花入りしおりの作製、キク(食用菊)入り洋菓子とお茶の試飲も行い、キクタニギクを広く広報した。これらイベントの内容についてアンケートを取り、今後の活動に役立つ様に集計を行った。

3,今後の活動について

キクタニギクを短日処理することで開花期間が制御可能になったので、京都由来の観賞用のキクとして重陽の節句を始めとしたキクのイベントなどに活用したい。また、食品利用が可能かどうかを検証するため、キクタニギクの花の成分分析を行い、食品原料にも利用して行きたい。



0 w (对照) 2 w 4 w

短日处理区

KPU

京都府立大学による「キクタニギクの栽培技術の開発と利活用に関する基礎研究」

公開講座 キクタニギクの未来創造

今年テーマとなるキクタニギク(アフロニギク)は、京都・山崎の清流、海浜(高瀬川)を名とする起源にさる京都ゆかりの「野草」です。京都では野生で確認されていますが、当地域外での栽培が可能です。都の教育方針や商業施設に設置しているキクタニギクは数箇所に誇っています。かつくは身近に親しまれています。夏前の花盛り期として各地からの市民団体を招き入れることになりました。

本講座は、京都府立大学の京都市立高等学校「フーネポート」より、学生が選定する発表者(リポーター)で発表内容の決定と制作の最終準備、遂行していただき、続いて京都市立豊島高等学校 植物クリエイティブ科(インターナショナル)生徒の熱心な試験観察実習の結果、結果に賛同者を募り、提供していただくために「お楽しみ交流コーナー」ともご用意しました。前都庁第九分庁ビルディングの協力を得ています。

13:00 -	開会挨拶	京都府立大学 教授・副学長 増村 威宏
13:15 -	講演	日本の花文化史の主要野菜「食用菊」の生産と研究 京都府立大学 名誉教授 佐藤 隆
14:15 -	休憩	
14:30 -	発表	「重層の菊句」に京都ゆかりのキクタニギクを開花させよう！ 短日処理試験栽培地からはじまる挑戦 京都府立桂高専学校 植物クリエイティブ科・園芸ビジネス科 主査
14:45 -	体験交流	京都の秋を楽しんで「お楽しみ交流コーナー」
		●高校生による研究活動ポスター展示・発表・交流 ●キクタニギクの展示と紹介 ●キクタニギクの押し花入りおし作りワークショップ ●キクラ洋菓子とお茶の試飲会
15:45 -	閉会	




未だ訪れる価値がある

令和6年10月27日(日)
13時～15時45分

京都府立大学
稲盛記念会館
1階 101・102講義室
(地下鉄北山駅より南へ徒歩5分)

事前申込不要・参加費無料ですが、会場へ直接お越しください (12:30～受付)
会場には駐車場がありませんので、公共交通機関でお来場ください。
連絡先：京都府立大学大学院生命環境科学部研究科 造形工芸工学研究室
〒606-8522 京都市左京区下鴨木町1-5
電話/FAX:075-703-5675 E-mail: kikutanen2024@dgcbase.jp (担当 増村 威宏)



主催：京都府立大学 京都府立桂高専学校 都の福岡
協力：森田(良)農園

A photograph of a dining room with a long table covered in a yellow cloth. The table is set with plates, glasses, and a vase of yellow flowers. The walls are decorated with several framed photographs of nature and flowers.

図7 高校生によるポスター発表